

# ALL JA CQ ROOM を使いこなそう その1

## ALL JA CQ ROOM とは

新しいバンドやモードを始めるとき、ちゃんと結果が出るのか（＝交信できるか）と不安になることも少なくないと思います。

WIRES-X は、ノードと呼ばれるアクセスポイントを他のノードまたはルームという場所に「つないで（コネクトして）」から交信するシステムなので、つながないと交信できませんし、つないだ先に「人」がいてオペレートできる状態でなければ、CQ を出したとしても空振りに終わります。

約 15 年前、WIRES のユーザー有志は、EchoLink のカンファレンス（＝ルーム）のような機能を WIRES に搭載してほしいと八重洲無線に要望し、それが叶うと同時に「いつでも誰かがいて、交信できる」WIRES の体験版的な接続先を作ろうと「ALL JA CQ ROOM」の運用をスタートしました。

WIRES にルーム機能が追加された当時から ALL JA CQ ROOM が運用されているのは、このような経緯からです。メーカーが運用していると勘違いされがちですが、ユーザーの提案により生まれ、ユーザーが組織した ALL JA CQ ROOM 管理チームによって運営・管理されています。

そして現在では、ポータブル・デジタル・ノード（PDN）の普及で WIRES-X の利用者が増え、ALL JA CQ ROOM もさらににぎやかになりました。

## ALL JA CQ ROOM には 3 つある

も ALL JA CQ ROOM には、にぎやかな「20510 ルーム」、20510 のサブ的な「20509 ルーム」、そしてデジタル専用の「20610 ルーム」（図 1）の 3 つがあります。

いずれも全国の不特定多数のアマチュア局と楽しく交信したいという方に利用されており、通勤や通学そしてお散歩中の方、車から楽しむ方、のんびりと家から交信を楽しむ方など、いろいろな方が交信を楽しんでいます。

ALL JA CQ ROOM は、メインチャンネルがごどく CQ を出せる超広域レピータのような雰囲気存在し続けています。

ALL JA CQ ROOM に特に難しいルールはありません。管理チームによれば「ゆずりあいの精神で常識的なご利用をお願いしたい」とのことでした。



図 1. 20610 ルーム接続時の WIRES-X ソフトウェア画面

こちらはデジタル専用ルームで週末になると 50 ノード以上の接続がある

JQ1ZEV ALL JA CQ ROOM 配布資料

© JK1MVF Eiichi Takada 2019

JQ1ZEV URL: <https://blog.goo.ne.jp/jq1zev>

JK1MVF URL: <https://jk1mvf.com/>

## ALL JA CQ ROOM を使いこなそう その2

### ALL JA CQ ROOM の使い方

詳しくは図2の案内サイトに掲載されています。その中で特に重要ポイントを紹介します。

#### ■ CQ の出し方

レピータでCQを出して交信するような感覚です。そのままルームを変えずに交信するのが基本ですが、慣れてくるとルームを変更して交信される人もいます。

CQを出すときには、ルームに接続してから他の人が交信中でないか3分以上のワッチをお勧めします。CQを出して応答がなく、再度CQを出す場合は3回程度までにします。CQに応答がなかった場合、「応答なし、以上」などと呼び出し終了を意思表示すると良いでしょう。

他局がCQを出した直後に自分がCQを出したり他局を呼び出したりすることは失礼に当たるので、他局のCQに応答せず自分でCQを出したい場合は、2～3分待ってから出すようにしましょう。

最近は、ALL JA CQ ROOMでCQを出すと海外から呼ばれる場合もあります。英語でも対応できるように準備しておくこと焦らずに済みます。

#### ■ ブレークイン・タイムを確保

相手局の送信が終わってから、ひと呼吸おいてから送信しましょう。この「ひと呼吸」をブレークイン・タイムと呼び、ノードに対して無線機でコマンドを送るのに必要な「間」です。

#### ■ 10分ぐらいで交信を終わらせる

1交信は長くても10～15分以内で終わらせるようにします。これは知り合い以外との交信で名前や運用場所を伝え合い、設備や天気の話ができる程度の時間と考えられています。長時間、同じ局が交信して他の人が使えないという状況にならないように工夫と配慮が必要です。

交信が終わってすぐに別の局から呼ばれたとき、または記念局・特別局などでパイルアップになった場合は、例外的に連続交信が可能です。この場合、テキパキと交信しトータルで15分以内を目めど処に交信を終えるようにします。さらに継続して交信したい場合は、ALL JA CQ ROOM2 (20509) や自分のルーム、またはNode to Nodeに移行して交信を続けると良いでしょう。

#### ■ 交信を終了するときは

交信終了を待つ人への配慮として「以上で交信を終わります」などと一言添えると親切です。



図2. 20610 ルーム接続時の WIRES-X ソフトウェア画面  
利用ルールなどが記載されている URL

<http://cqwires.com/>